

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）リッキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）セキゼミナール
立教大学	経済学部	関ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ビーダッシュ	フリガナ）スギモトアイリ	5	無
B'	杉本愛理		

研究テーマ（発表タイトル）
たばこ共存する社会へ～投票ボックスでポイ捨て削減～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たち5人は今年で20歳を迎えるとともにたばこが合法となった。大学やアルバイト先でたばこに触れる機会が多くなり、非喫煙者である私たちはたばこに対してマイナスのイメージを抱くことが増えた。また、今年オリンピックイヤーでもあり、2020年の東京オリンピック開催に向けてニュースでたばこ問題が多く取り上げられていることに気がついた。そこで私たちはタバコ問題に取り組む良いきっかけの年だと思い、たばこ問題に取り組もうと考えた。

世の中にはたばこに対して否定的な意見を持つ人だけでなく肯定的な意見を持つ人も同様に存在する。喫煙者に対してたばこを制限する取り組みが多くなされている中で、喫煙者からむやみにたばこを取り上げたり喫煙者を排除したりしようとするだけではたばこ問題の根本的解決にはならないと考えた。そこで私たちは、喫煙者がたばこを吸える環境は残しつつ、非喫煙者がたばこで不快な思いをすることのない、そんな二者が共存できる社会を作ろうとこの活動を開始した。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

厚生労働省は今年8月に15年ぶりに改訂した「たばこ白書」（喫煙の健康への影響に関する報告書）の中で、日本の受動喫煙対策は「世界最低レベル」と発表し、今後の対策として屋内全面禁煙などの必要性があると提言している。現在の日本は、屋外では地域ごとに条例による喫煙場所の規制がされている一方、屋内では完全禁煙を達成している店舗は少なく分煙という形をとる店舗が多い。この屋内での喫煙可という状態は先進国の中でも稀なケースであるため政府は東京オリンピックに向け早急な対策を検討している。しかし、政府によって屋内完全禁煙化が実施されると、屋外での喫煙規制がある日本では喫煙可能場所がよりいっそう限定されてしまう。その結果、たばこのポイ捨て増加という新たな問題が発生してしまう恐れがあると私たちは考えた。

また、非喫煙者を対象にした「喫煙者の気になる喫煙マナーについてのアンケート」では、1位がたばこのポイ捨てであった。すなわち政府による受動喫煙対策によって、非喫煙者の不信感が増すという結果を招く恐れがあると感じ

た。よって私たちはたばこのポイ捨て問題に着手することにした。さらに、我々が調査した非喫煙者を対象とするアンケートによると 72%もの非喫煙者が「喫煙マナーがよくなれば喫煙者と共存できる」と回答したことから、気になるマナー 1 位のポイ捨てに取り組むことで喫煙者と非喫煙者の共存へ一歩近づくと考えた。

たばこのポイ捨てについて調べていくうちにその被害は甚大であることがわかった。ポイ捨てされるゴミの種類別割合でたばこの吸い殻は 1 位の 44%であり、年間ポイ捨て量は 200 億本といわれている。そして、ポイ捨てされる吸い殻の年間清掃費用は 2000 億円にも昇る。この問題に対しさまざまな取り組みが行われているが課題が残り、問題解決には至っていない現状である。

3. 研究テーマの課題

実際に清掃活動を行っている日本たばこ株式会社様は「このような活動に参加するのはポイ捨てをしない人たちであるため、ポイ捨てをする人にどのように働きかけるかが課題である」とおっしゃっていた。そこで私たちはターゲットを喫煙者にし、マナー向上を直接働きかけることが必要であると考えた。

また、ポイ捨てをする主な理由は「喫煙所に行くのが面倒だ」「喫煙所が少ない」と知った。そこで私たちは、この 2 つの喫煙者の声に着手することで喫煙者のマナー向上・ポイ捨て削減を目指そうと考えた。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

喫煙者が喫煙所に行くきっかけを持たせることで、ポイ捨ての削減・喫煙者のマナー向上による、喫煙者と非喫煙者の共存を図ることを目的とする。喫煙者に進んで喫煙所に行ってもらうためには、喫煙者に対して喫煙所へ行く何らかのメリットが必要だと私たちは考えた。

プランの概要は、まず既存の喫煙所に投票ボックスを設置する。投票ボックスには二択式のアンケートを表示し、喫煙所に来た喫煙者にどちらか選んでもらい、吸い殻一本を一票として投票してもらう。これと連携しているアプリ「C Vote」を作成し、投票するごとにポイントがたまり、ポイントをためた喫煙者はタバコの試供品と交換できるシステムを導入する。このように、喫煙所に行くことに付加価値をつける事で「喫煙所に行くのが面倒だ」という声を「面倒でも喫煙所へ行こう」に変えることで解決する。

また、アプリに喫煙所検索マップの機能も導入する。現在飲食店などで禁煙・分煙を示す店頭表示の普及率は低い。しかし喫煙の可否は喫煙者の店舗選択時に最も重視することであるため、喫煙可能な店舗の表示機能が必要である。また駅から離れている、チェーンの飲食店ではないなど認知度の低い喫煙場所の情報を、アプリ利用者に口コミで掲載してもらい、この機能により、今まで認知していなかった喫煙所を知ることにより「喫煙所が少ない」と感じる人の減少を見込める。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

たばこを使った投票ボックスはイギリスで行われ、ポイ捨て量が半減し効果が確認されている。私たちは投票ボックスを日本に導入するにあたって上記のようなアプリとの連携で付加価値をつけた。その結果、喫煙所数が都内上位にも関わらずポイ捨て数も上位である渋谷区で「実際に C Vote があれば利用してみたいか」と街頭アンケートを行ったところ、75%もの人が「あったら利用する」と回答し、導入した場合にポイ捨て削減が見込まれる。

6. 結果や今後の取り組み

私たちは 4 年間の導入プランを検討している。4 年後はオリンピックがリオから東京へやってくる年である。そして、国際オリンピック委員会は 1988 年からスモークフリーシティを目指す活動をしている。次の東京オリンピックでは予想観客動員数 850 万人と言われており、開催都市には多くの人々が集まるため、ポイ捨てのさらなる増加が予想される。そこで私たちは 1 年目に渋谷区、2 年目に東京 23 区、そして 3・4 年目にオリンピック開催都市へと普及させていこうと考えている。

7. 参考文献

・JT ウェブサイト <https://www.jti.co.jp/>（6月23日）
・2016年日本たばこ協会 <http://www.tioj.or.jp/data/>（6月29日）
・厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/tobacco/index.html（8月10日）
・一般社団法人 中央調査社 <http://www.crs.or.jp/backno/No649/6491.htm>（8月16日）
・株式会社ヒューマ

http://www.huma-c.co.jp/topic/enquete_cigarette.html (7月28日)・新宿区ホームページ
<https://www.city.shinjuku.lg.jp> (8月23日)・株式会社ピリカ <http://corp.pirika.org> (8月27日)・医療法人亀田グループ <http://www.kameda.com/ja/general/> (8月8日)・HUBBUB ホームページ <http://pages.hubhub.net> (7月25日)・TOKYU 00Hの媒体特性 <http://www.tokyu-agc.co.jp/tokyu-ooH/media/shibuya/> (9月12日)・株式会社バルク リサーチバンク事業 JT ウェブサイト <https://www.jti.co.jp/> (6月23日) ・2016年日本たばこ協会 <http://www.tioj.or.jp/data/> (7月6日)・株式会社バルク リサーチバンク事業 <https://www.vlcank.com/mr/report/087/> (6月23日)・喫煙者との共存こそ 愛煙家通信 Web版-喫煙文化研究会 <http://aienka.jp/articles/026/> (8月30日)・タバコを吸う人のマナーで気になることって? <http://news.mynavi.jp/news/2014/07/25/262/> (8月13日)・拾えば街が好きになる運動 今後のスケジュール <http://hiromachi.jp/schedule/index.html> (6月23日)・TABI LABO イギリスたばこ問題について <http://tabi-labo.com/180482/litteringtovote/> (7月25日)・生活に役立つ情報 <http://elife-up.net/wp/?p=1230> (9月13日)・喫煙所アプリまとめ <http://matome.naver.jp/odai/2141448228441864101> (8月10日)・東京区部における区指定喫煙所の整備に関する研究 http://www.soc.titech.ac.jp/publication/Theses2012/graduate/06_17172.pdf (8月18日)・ワーホリでイギリス生活 <http://worholiuk.com/uk-smoking-expensive-cigarette/> (7月31日)・e-ヘルスネット <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/tobacco/t-05-002.html> (8月1日)・五輪で東京に1000万人 過密都市ゆえに課題多く:日本経済新聞 <http://www.nikkei.com/article/DGXNZ059486280Q3A910C1EA2000/> (9月11日)・東京オリンピック・パラリンピック 招致本部 <http://www.shochi-honbu.metro.tokyo.jp/> (9月13日)・オリンピック・パラリンピック開催に向けた移動と交通に関する基礎調査 http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/report/data/26_09_olypara.pdf (9月15日)・東京五輪1日92万人の観客をどうやって運ぶ? <http://blogs.itmedia.co.jp/serial/2013/09/192-e464.html> (9月19日)・東京23区でごみのポイ捨てが多いのは? <http://ennori.jp/3513/pirika-reveals-survey-result-for-garbage-in-tokyo-special-ward> (8月25日)・東京23区で一番きれいな街は千代田区?-ポイ捨てランキング <http://news.mynavi.jp/news/2015/08/03/318/> (8月22日)・厚生労働省の最新たばこ情報 <http://www.health-net.or.jp/tobacco/product/pd100000.html> (8月10日)・都市をスモークフリーに-日本禁煙学会 <http://www.jstc.or.jp/uploads/uploads/files/WHOsf.pdf> (8月10日)・ジョンソン エンド ジョンソン公式ホームページ <https://www.jnj.co.jp/group/press/2014/0526/> (7月12日)・分煙時代に対応した店づくりの4つのポイント <http://www.zeninren.or.jp/pdfdata/bunen13.pdf> (9月20日)・煙草のどこが嫌?-嫌煙家の51%が「におい」 <http://news.mynavi.jp/articles/2014/07/28/kenen/> (8月11日)・ガベージニュース-「たばこを吸うなんて迷惑だ!」が6割・嫌煙家の反発は相当なもの <http://www.garbage-news.net/archives/724135.html> (8月21日)・船橋市 歩きたばこのない町・船橋の目指す決議 <http://www.city.funabashi.lg.jp/machi/kankyuu/003/p001511.html> (8月27日)・新宿区 路上喫煙 Q&A http://www.city.shinjuku.lg.jp/seikatsu/file11_01_00007.html (8月14日)・受動喫煙 リスク 肺がん発症1.3倍 <http://news.goo.ne.jp/article/mainichi/nation/mainichi-20160831k0000m040141000c.html> (8月4日)

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

特になし

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。